	農地法第3条の規定による許可申請書							
御代田町農業委員会会長	様	平成	年	月	日			
	譲渡人			印				
	譲受人			印				

下記農地(採草放牧地)について(所有権・賃借権・使用貸借による権利・その他使用収益権(

)) *E* 、

(移転・設定(期間 年間))したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。(該当する内容に○をして下さい。)

1 申請者の氏名等

申請者	氏 名	年 齢	職業	住 所	電話番号
譲渡人					
譲受人					

2 許可を受けようとする土地の所在等(土地の登記事項証明書を添付してください。)

土地の所在	地 番	地	目	面積(㎡)	対価・賃料等の額(円)	所有者の氏名(名称)	所有権以外 が設定されて	の使用収益権 ている場合
土地の所任		登記簿	現況	国作(III)	〔10a当たりの額〕	(現所有者が登記簿) と異なる場合	権利の種 類、	権利者の 氏名(名称)
御代田町					[円/10a]			
御代田町					[円/10a]			
御代田町					[円/10a]			
計 A	r	n²	(田	m²,	畑 m²,	採草放牧地	m²)	

3 権利を設定し、又は移転しようとする事由

譲渡人	1 交換による 2 労力不足 3 兼業による経営縮小 4 参加法人への出資等 5 農業廃止 6 耕作不便	
政役人	7 農地以外との交換 8 相手方の要望 9 贈与による 10 競公売による 11 農業者年金受給 12 資金を必要とするため	
譲受人	1 増反による 2 交換による 3 贈与による 4 競公売による 5 経営移譲による 6 その他 [)

4 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

1 契約した日	平成	年	月	日	4 貸借の設定期間	平成	年	月	日	から
2 土地の引渡の時期	平成	年	月	日		平成	年	月	日	まで
3 権利移転(設定)日	平成	年	月	B	5 その他 〔)	

5 権利を取得しようとする者又はその世帯員等が、現に所有し、又は使用収益権を有する農地及び採草放牧地の利用の状況

	農地面積(m²)	田		畑			樹園地	採草放牧地面積(m²)
自作地	1							2
貸付地								
	所 在	地 番	坩	1 目	面積	į (m²)		状況•理由
	/// 144	20 田	登記簿	現況	四個	((111)		水ル
	御代田町							
非耕作地	御代田町							
	御代田町							
	農地面積(㎡)	田		畑		;	樹園地	採草放牧地面積(m)
借入地	3							4
貸付地								
	所 在	地 番	坩	1 目	 	t (m²)		状況•理由
	771 11.	地面	登記簿	現況	田作	((111)		水龙 挂田
	御代田町							
非耕作地	御代田町							

(記載要領)

- 1 申請者の氏名(法人にあってはその代表者の氏名)の記載を自署する場合においては、押印を省略することができる。
- 2 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載し、定款は又は寄付行為の写しを添付のこと。
- 3 競売、民事調停等による単独行為での権利設定又は移転である場合は、当該競売、民事調停等を証する書面を添付のこと。
- 4 「非耕作地」には、状況・理由として、「~であることから条件不利地である」、「賃借人が○年間耕作を放棄している」、「~のため○年間休耕中である」など 自らの耕作又は養畜の事業に供することができない旨を詳細に記載のこと。

佐利な原復したとしてグラフトスの世世皇族の機構の正古の仏辺 曹佐光に従事士ス老の粉焼の仏辺

O A	准州を取付しよりと 9	の 白 又 はて	この世帯	貝寺の	機械のた	丌有 少礼	人亿、层个	作来に1	此事りる	有の数	、寺の仏社	冗		
(1)作付(予定)作物、作物	別の作付面和	責											
			田			ŀ			樹園地			採草放	牧地	
	作付(予定)作物													
	権利取得後の面積(r	n²)												
(2)大農機具又は家畜		'				'				'		1	
		種類												
	数量													
	確保しているもの	所有												
	(台数等)	リース												
		所有												
	導入予定のもの (台数等)	リース												
	(- 20, 47	資金計画	(自己資金	借入金)	(自己資金	借入金)	(自己資金	借入金)	(自己資金・	借入金)	(自己資金	借入金)	(自己資金・	借入金)
請)	記載要領)													
1	1 「大農機具」とは、トラクター、耕うん機、自走式の田植機、コンバイン等を、「家畜」とは、牛、豚、鶏等をいう。													
9	道する空のものについ	てけ 次を計画	町のふた 片	コンタト	出え会の	*******	St. 01-02	を付してん	ゲキい					

(3)農作業に従事する者							
	①権利を取得しようとする者が個人である場合には、その者の農作業経験等の状況							
	農作業歴年	. 農業技術修学歴		年、その他〔)			
	②世帯員等その他常時雇用	現在	人	(農作業経験の状況:)			
	している労働力(人)	増員予定	人	(農作業経験の状況:)			
	③臨時雇用労働力	現在	人	(農作業経験の状況:)			
	(年間延人数)	増員予定	人	(農作業経験の状況:)			
	④ ①~③の者の住所地、拠点	となる場所等から権利を	設定	又は移転しようとする土地までの平均距離又は時間				
	平均距離 Kr	m、 平均時間		時間 分				

- 7 農地法第3条第2項第2号に規定する農業生産法人の構成員等の状況(※該当する場合のみ、別紙に記載し、添付してください。)
- 8 信託契約の内容(※該当する場合のみ、別紙に記載し、添付してください。)
- 9 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況(※個人の場合 のみ記載してください。)

(※「世帯員」とは、住居及び生計を一つにする親族並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の2親等内の親族をいいます。)

	氏 名	年齢	性別	権利取得者 との関係	主たる職業	その行う耕作又は 養畜の事業に必要な 農作業の日数	その者が農作業に 常時従事する日数
世							
帯							
員等							
,,							

10	権利を取得し	トラレオス者マける	の世帯員等の権利的	7.4.4.2.4.1.7.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4.4	面積の状況
10	11# 1117 AX15 L			X 1 T 1 Z (L X) () () N + E	18178日 Vノイハ イル・

(1)農地の合計面積(5の①+③+権利を取得しようとする農地面積2の A)	=	(m^2)
(2)採草放牧地の合計面積(5の②+④+権利を取得しようとする採草放牧地面積)	=	(m^2)

11 周辺地域との関係(※周辺農地等の農業上の利用に及ぼす影響について該当するものに○を付してください。)

(1)農地の集団化への支障	(有・無)	(2)農作業の効率化への支障	(有・無)	(3)面的農地利用の分断	(有・無)
(3)水利調整への不参加	(有・無)	(4)無農薬栽培等への支障	(有・無)	(5)共同防除等への支障	(有・無)
(6)実勢に比べ極端に高額な	賃借料(有・無	乗) (7)その他 []

添付書類

(1) 申請地の位置図、地籍図(公図)	(5) 譲受人が法人にあっては法人の全部事項証明書及び定款又は寄付行為
(2) 申請地の全部事項証明書(登記簿謄本)	(6) 譲受人が耕作権限を有する農地に関する証明書:耕作地証明 (町外者の個人の場合)
(3) 営農計画書、確約書	(7) 譲受人の住民票 (町外者の個人の場合)
(4) 通作経路を示す図面	(8) その他参考資料(必要と認める場合)

農地法第3条の規定による許可申請書

農業委員会受付年月日

御代田町農業委員会会長 様

農業

太郎

平成 21年 12月 21日

印 譲渡人 浅間 一郎

譲受人 農業 太郎 印

年間))したいので、農地法第3条<u>第1項に規定する許可を申</u>請します。(該当する内容に○をして下さい。)

下記農地(採草放牧地)について(所有機・賃借権・使用貸借による権利・その他収益権(

農業兼会社員

))を、

(移転)設定(期間

譲受人

農業以外に職業のある方は、

1 申請者の氏名等 「農業兼~」と記入 申請者 氏 年 齢 職 名 譲渡人 浅間 一郎 **75**

上 所	電話番号
北佐久郡御代田町大字御代田531番地1	0267-31-0001
北佐久郡御代田町大字御代田111番地	0267-32-0001

40 2 許可を受けようとする土地の所在等(土地の登記事項証明書を添付してください。)

	土地の所在		地 番	地	目	面積(m²)	対価・賃料等の額(円)	所有者の氏名(名称)	所有権以外 が設定されて	の使用収益権 ている場合	
==			地 街	登記簿	現 況	国(貝(III <i>)</i>	[10a当たりの額]	(現所有者が登記簿) と異なる場合	権利の種 類、	権利者の 氏名(名称)	
		受人	1代田	100	170		2,000	2,000,000	浅間 一郎		
[0)	捨印 ,		N1 V III	123	田	田	2,000	〔 1,000,000 円/10a〕	[]		
(1)	御代田町							[円/10a]	[]		
(II)	御代田町							[円/10a]	[]		
		計	A	2000	m²	(田	2,000 m ² ,	畑 m²,	採草放牧地	m²)	

3 権利を設定し、又は移転しようとする事由

1 交換による 2 労力不足 3 兼業による経営縮小 4 参加法人への出資等 5 農業廃止 6 耕作不便 譲渡人 7 農地以外との交換 🔞 相手方の要望 9 贈与による 10 競公売による 11 農業者年金受給 12 資金を必要とするため 譲受人 ① 増反による 2 交換による 3 贈与による 4 競公売による 5 経営移譲による 6 その他[

4 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

4 貸借の設定期間 平成 から 1 契約した日 平成 21 年 12 月 8 日 年 月 日 平成 22 年 1 月 30 計可日以降の日付又は 2 土地の引渡の時期 平成 年 月 まで \exists 3 権利移転(設定)日 平成 __22 _ 年 _ 1_ _月_30 日 「許可後」と記入

5 権利を取得したシナス者又けその世帯員等が、現に所有し、又は使用収益権を有する農地及び採首放牧地の利用の状況

		農地面積(m²)	田	田畑畑		樹園地		採草	採草放牧地面積(m²)		
	自作地	① 3,000	2,000		1,000				2	0	
斤	貸付地										
ì		所 在	地 番	地	目	面積	(m²)		状況•理由		
地		//I IL	70 H	登記簿	現況		A (111)		1/1/1/1		
브	非耕作地	御代田町 大字御代田	321	田	田	34	15	山間の傾斜	傾斜地にあり、鳥獣の被害があ		
		御代田町									
		御代田町									
ŧ [農地面積(㎡)	田		畑			樹園地	採草	放牧地面積(m²)	
月 一	借入地	3 500	500						4	0	
Ė	貸付地										
権と言		所 在	地 番	地	地 目 面和 記簿 現況		£ (²)		J152H 798-4-		
i -		別住	地 省	登記簿			面積(m²)		状況•理由		
		御代田町									
_	非耕作地	御代田町									
也								+			

(記載要領)

- 1 申請者の氏名(法人にあってはその代表者の氏名)の記載を自署する場合においては、押印を省略することができる。
- 2 法人である場合は、住所は主たる事務所の所在地を、氏名は法人の名称及び代表者の氏名をそれぞれ記載し、定款は又は寄付行為の写しを添付のこと。
- 3 競売、民事調停等による単独行為での権利設定又は移転である場合は、当該競売、民事調停等を証する書面を添付のこと。
- 4 「非耕作地」には、状況・理由として、「~であることから条件不利地である」、「賃借人が○年間耕作を放棄している」、「~のため○年間休耕中である」など 自らの耕作又は養畜の事業に供することができない旨を詳細に記載のこと。

6 権利を取得しようとする者又は世帯員等の機械の所有の状況 農作業に従事する者の数等の状況

0	TETT CAN IT OS JC / STO		ナックルダルダックル 日	VANCOUS DECITED	たに氏子がむ日。	ン 30 寸 * ン 小 C L	76	
(]	1)作付(予定)作物、作物別の	作付け面積						
		田		畑		樹園	園地	採草放牧地
	作付(予定)作物	水稲	野菜					
	権利取得後の面積(m²)	4,500	1,000					
(2	2)大農機具又は家畜							

数量	種類	トラクター	田植之機	コンバイン			
確保しているもの	所有	1	1				
(台数等)	リース			1			
	所有			1			
導入予定のもの (台数等)	リース						
	資金計画	(自己資金 ・ 借入金)	(自己資金 ・ 借入金)	((己資金 ・ 借入金)	(自己資金 ・ 借入金)	(自己資金 ・ 借入金)	(自己資金 ・ 借入金)

(記載要領)

- 1 「大農機具」とは、トラクター、耕うん機、自走式の田植機、コンバイン等を、「家畜」とは、牛、豚、鶏等をいう。
- 2 導入予定のものについては、資金計画のうち、自己資金、借入金の該当するものに○を付してください。

①権利を取得しようとする者が個	人である場合には、	その者の	の農作業経験等の	:況		
農作業歴 18 年	、 農業技術修学	琵	年、	の他 [
②世帯員等その他常時雇用	現在 2	人	(農作業経験の状	况: 約10年間	、補助者として農作業を手伝っている。)
している労働力(人)	増員予定	人	(農作業経験の状	兄:)
③臨時雇用労働力	現在	人	(農作業経験の状	兄:)
(年間延人数)	増員予定	人	(農作業経験の状	兄:)
④ ①~③の者の住所地、拠点	となる場所等から権利	を設定	又は移転しようとす	5土地までのュ	P均距離又は時間	
平均距離 3 Kr	n、 平均時間		時間 10	分		

- 7 農地法第3条第2項第2号に規定する農業生産法人の構成員等の状況(※該当する場合のみ、別紙に記載し、添付してください。)
- 8 信託契約の内容(※該当する場合のみ、別紙に記載し、添付してください。)
- 9 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況(※個人の場合 のみ記載してください。)

(※「世帯員」とは、住居及び生計を一つにする親族並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の2親等内の親族をいいます。)

	氏 名	年齢	性別	権利取得者 との関係	主たる職業	その行う耕作又は 養畜の事業に必要な 農作業の日数	その者が農作業に 常時従事する日数
	農業 太郎	40	男	本人	会社員	150	150
世	農業 花子	34	女	妻	無職	150	60
帯	農業 誠	73	男	父	農業	150	∼ 100
員等	農業 悠太	15	男	子	学生	原則、専従者(従	(東口粉
चं						150日以上)が	
						必要がある。	

10 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における経営面積の出況

10 雇用と状内した。こうものはこうと前負付の権利状内後に続け		田 1英 * 2 小 () [1
(1)農地の合計面積(5の①+③+権利を取得しようとする農地面積2の A)	=	5,500	※農地取得に係る
(2)採草放牧地の合計面積(5の②+④+権利を取得しようとする採草放牧地面積)	=	0	(下限面積に注意

11 周辺地域との関係(※周辺農地等の農業上の利用に及ぼす影響について該当するものに〇を付してください。)

(1)農地の集団化への支障	(有 •無)	(2)農作業の効率化への支障	(有 •無)	(3)面的農地利用の分	断 (有:無)
(3)水利調整への不参加	(有 •無)	(4)無農薬栽培等への支障	(有 •無)	/ (5)共同防除等への支	:障 (有⋅無)
(6)実勢に比べ極端に高額な	賃借料 (有・拥	(7)その他 [該		J
			可	することができません。	

添付書類

(1) 申請地の位置図、地籍図(公図) (5) 譲受人が法人にあっては法人の全部事項証明書及び定款又は寄付行為 (2) 申請地の全部事項証明書(登記簿謄本)

(6) 譲受人が耕作権限を有する農地に関する証明書: 耕作地証明 (町外者の個人の場合)

(3) 営農計画書、確約書 (7) 譲受人の住民票 (町外者の個人の場合)

(4) 通作経路を示す図面 (8) その他参考資料(必要と認める場合)